

おほらえ

かがりびたきあげ

令和3年12月31日(金)

# 大祓・越年祭、篝火焚上神事

今季一番の寒さの中、厄年会と神社関係者により、大祓・厄年振舞神事が行われました。

大祓は半年間の災い・けがれを祓い清めるために行われます。(夏に行われるのは「夏越の大祓」)

## 大祓



開始太鼓 (21:52)



降神の義 明かりを消してロウソクの火のみで行われます



神職が「大祓詞」を唱える  
おほらえのことば



「人形代」に自分の穢れを移します  
ひとかたしろ

## 厄年振舞神事



宮司一拝の後 祝詞奏上 (22:05)



宮司玉串奉奠



神社代表につづき  
厄年会代表玉串奉奠



宮司一拝の後 宮司挨拶 (22:18)



人形代を竹筒に回収



お守りを授与

**越年祭** 一部の神社関係者のみで行われます



開始太鼓につぎ 修 祓 (22:39)



宮司一拝・献饌の後 祝詞奏上



宮司玉串奉奠 神社代表とつく



宮司一拝の後 宮司挨拶 (22:50)

**篝火焚上神事** 横風の小雪の舞う寒い中で催行されましたが、通常ですと周りに大勢の参拝者が取り囲む場面です。



本殿より御神火が運ばれます (23:43)



祝詞奏上



四方祓い



宮司 玉串奉奠



玉串奉奠 (神社代表・区長・厄年会代表)



御神火より分火



着火 (0:03)



昨年より人出は多いです

### 越年後の境内



拝殿前の参拝者 (0:08)



神札・お守り・おみくじ授与所